

2009(平成21年)

4.1

広報

はむら

4月4日(土)正午開通

都市計画道路3・4・16号線立体交差
(羽加美栄立体交差)

CONTENTS

■平成21年度予算	1
■お知らせ	5
■子どものページ	22
■市の仕事についてお知らせします	23
■健康インフォメーション	25
■4月のテレビはむら	25
■4月の相談日ほか	26

平成16年度から工事を行ってきた都市計画道路3・4・16号線立体交差(羽加美栄立体交差)が、4月4日(土)に開通します。

この立体交差の開通により、踏切の渋滞を解消し、青梅線西側地域から市役所通り方面へのアクセスの向上を図り、周辺地域の活性化が期待されます。

(写真：平成21年3月16日(月)撮影)

平成21年度 予算

「ひとに心 まちに風」
いきいき生活・しあわせ実感都市

はむら」を目指して

一般会計

191億2000万円

前年度比4.7%減

平成21年度は、急速な景気の悪化を受け、例年に無く厳しい社会経済状況の中での予算編成となりました。しかし、市民生活の急激な変化を回避、緩和し、日々の暮らしの安定を守り、不安を払しょくする姿勢で予算を編成しました。

また、福祉、健康、教育、生涯学習、環境、安全・安心対策など、市民生活に真に必要な施策や、市が将来に向けて発展、繁栄していくために必要となる課題については、限られた財源の中で予算を措置しました。こうした方針により、一般会計の予算規模は、191億2000万円の前年度と比べて9億5000万円（4.7%）の減少となりました。

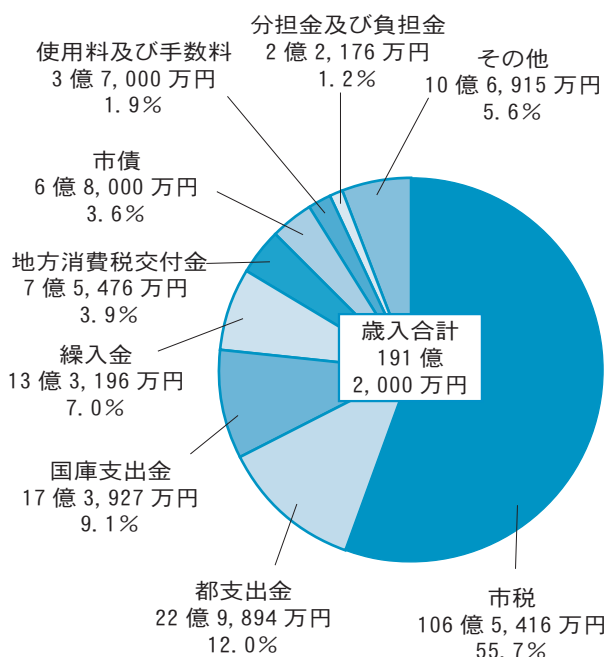
問合せ 財政課財政担当

一般会計歳入

◆市税収入は6.0%減

歳入の基幹となる市税収入は、市民税法人分が、厳しい社会経済状況の下、大きく減収となる見込みで、市税全体では前年度比較で6億8390万円、率にして6.0%の大幅な減収となります。

このほか、各交付金などでも減額が見込まれ、こうした減収については将来の財政運営への負担を



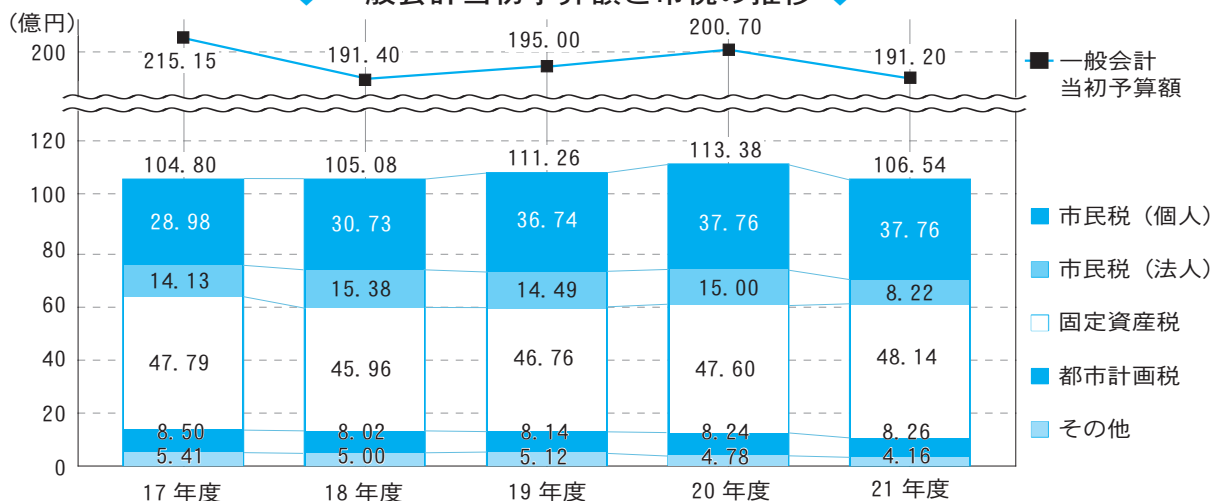
考慮しながら、市債（臨時財政対策債）や基金（財政調整基金）の有効活用を図り財源を確保しました。現在の厳しい社会経済状況は当面続くと見られ、市の財政についても同様に、今後一層厳しい状況になるものと考えられます。

◆財源補完の状況

(単位：千円)

	平成21年度当初	平成20年度	増減額	増減率
財政調整基金	952,926	599,634	353,292	58.9%
臨時財政対策債	680,000	300,000	380,000	126.7%

◆一般会計当初予算額と市税の推移

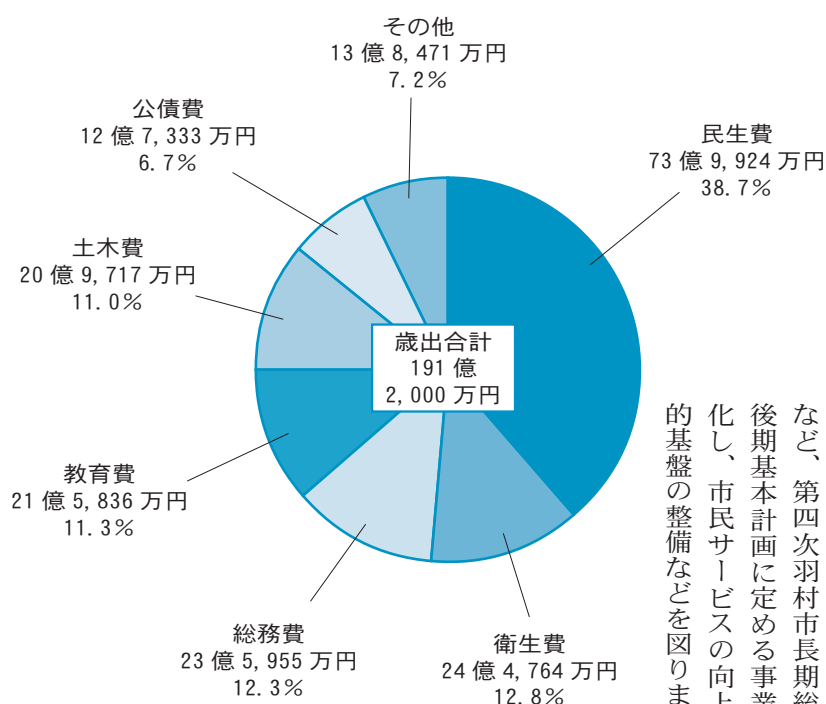


※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない年度があります。

(単位：千円)

区 分		平成 21 年度（当初）	平成 20 年度	増減額	増減率
一 般 会 計		19,120,000	20,070,000	▲ 950,000	▲ 4.7%
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	5,592,494	5,292,982	299,512	5.7%
	老 人 保 健 医 療	7,995	395,157	▲ 387,162	▲ 98.0%
	後 期 高 齢 者 医 療	634,772	620,076	14,696	2.4%
	介 護 保 険 事 業	2,269,402	2,210,778	58,624	2.7%
	羽村駅西口土地区画整理事業	469,062	466,278	2,784	0.6%
	下 水 道 事 業	1,563,772	2,217,916	▲ 654,144	▲ 29.5%
	特 別 会 計 合 計	10,537,497	11,203,187	▲ 665,690	▲ 5.9%
水 道 事 業 会 計		1,442,296	1,514,379	▲ 72,083	▲ 4.8%
全 会 計 単 純 合 計		31,099,793	32,787,566	▲ 1,687,773	▲ 5.1%

※水道事業会計は、企業会計のため「収益的支出」「資本的支出」を合計した予算額としています。



◆市民サービスの向上と都市基盤の整備を図ります

妊婦健康診査費の負担軽減や特定不妊治療費の助成、地域包括支援センターの増設、羽村第三中学校の防音機能復旧(機器取替)事業、地球温暖化対策地域推進計画の策定、市内共通商品券発行事業(平成20年度債務負担行為設定)など、第四次羽村市長期総合計画後期基本計画に定める事業を予算化し、市民サービスの向上と都市基盤の整備などを図りました。

一般会計歳出

◆市民サービスの向上と都市基盤の整備を図ります

◆市民一人当たりの歳出予算額は34万2530円

一般会計予算額を、市の人口5万5820人(平成21年1月1日現在住民基本台帳人口)で割ると、一人34万2530円となります。予算総額を1万円として計算すると、次のような内容になります。

高齢の方、障害のある方、保育などの充実のために	3,870円
市民の健康を守ることやごみ処理などに	1,280円
コミュニティの振興や行政運営のために	1,230円
学校教育や文化・スポーツの振興に	1,130円
道路、公園や市街地の整備のために	1,100円
市が借り入れた市債などの返済に	670円
火災や地震などの災害に備えて	410円
産業振興や消費者のために	160円
議会運営のために	130円
その他	20円

平成21年度予算、財政白書は市役所1階市政情報コーナー・図書館・市ホームページでご覧いただけます。